

女性大学 50 年のあゆみ

1 開講の経緯

- ・ 婦人の生活向上や連携強化に向け、老朽化した札幌婦人会館に代わる新たな婦人会館の設立や開館を自主管理する法人組織の設立を求める関係機関の意見などを踏まえ、昭和 47 年（1972 年）に財団法人「北海道婦人協会」が設立されるとともに、昭和 49 年 1 月には道が農労会館を改築して「北海道婦人文化会館」を開館しました。
- ・ この婦人文化会館における自主的な学びの場を望む声が高まっていたことから、同年、「婦人大学」（道の補助事業）が誕生しました。
- ・ その後、平成 3 年（1991 年）11 月に、財団法人「北海道婦人協会」は財団法人「北海道女性協会」に名称を変更するとともに、「北海道婦人文化会館」は新たに建設された「北海道立地域活動振興センター（以下「かでの 2・7」）」内に移転し、「北海道立女性プラザ」として開設することとなりました。
- ・ このため、「婦人大学」も平成 4 年からは「女性大学」に名称を変更し、以後、「かでの 2・7」において開催しています。



北海道婦人文化会館
（札幌市中央区北 1 条西 7 丁目）



婦人大学の講義風景
（昭和 50 年ごろ）

2 開催の経緯

(1) 目的

「女性大学」は、社会経済情勢の変化に対応し、男女平等参画を柱としながら、婦人の社会参画に対する視座の広がりや資することを目的としており、幅広いテーマで、大学や企業・団体、行政の有識者からお話をいただいています。



道民活動センタービル(かでの2・7)
(札幌市中央区北1条西7丁目)



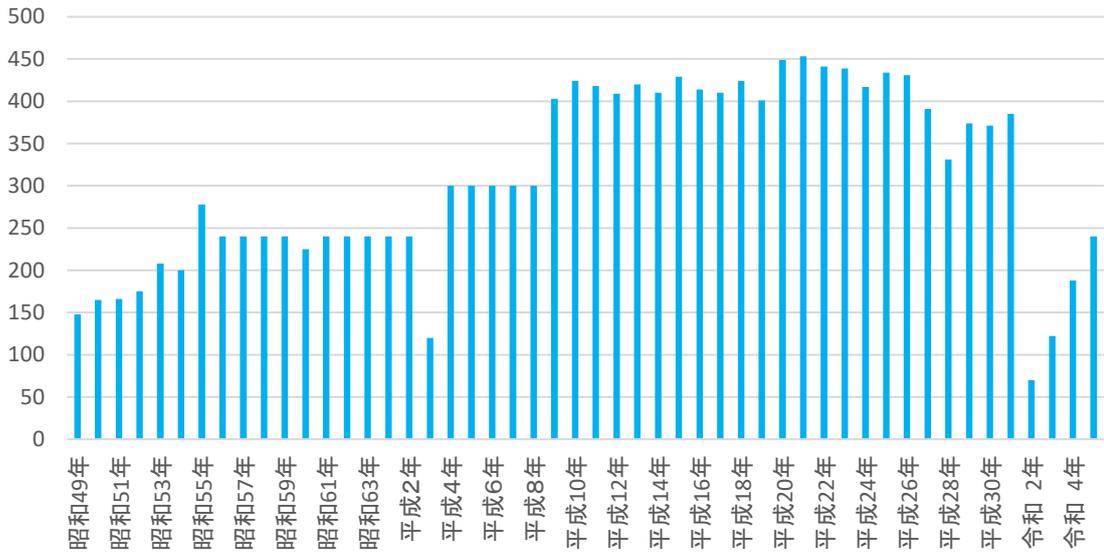
女性大学の授業風景
(平成30年度第2期)

(2) 受講者数

最初は定員 50 名でスタートしましたが、徐々に受講者は増加し、平成9年からは定員 200 名で実施しています。なお、令和2年からは新型コロナウイルス感染症の影響で定員を抑えており、令和4年までは定員 100 名で実施しました。

令和5年度第2期までの延べ受講者数は、1万5千人を超えています。

受講者数の推移

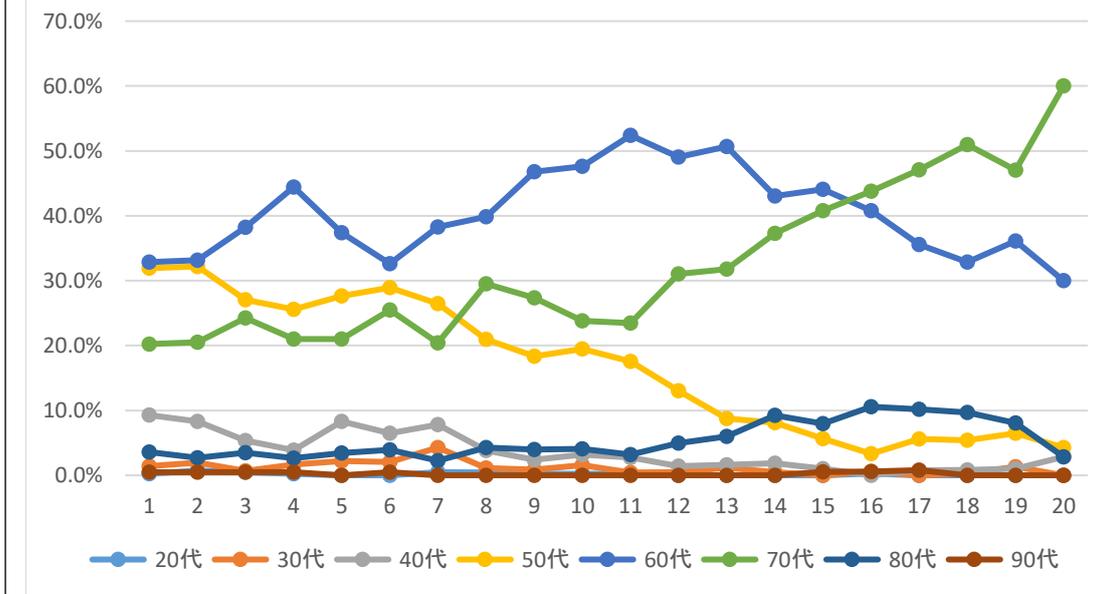


(3) 受講者の年齢構成

参加者の年齢層は、平成19年（第1期）は平均年齢63.3歳でしたが、徐々に上昇しており、コロナ前の令和元年（第1期）では、69.4歳となっています。

受講者は極めてリピート率が高く、令和元年（第2期）の受講生（183名）のうち、49名が過去5年間（10期）連続で受講しています。

受講者の年齢の推移



(4) 受講生による活動

婦人大学の修了者のうち、趣旨に賛同していただいた方々により、昭和 50 年からボランティアビューローを開設し、ボランティア登録を行うとともに、ボランティア活動の紹介を行う取組を行なっています。(平成 25 年度まで)

また、「草花と親しむ会」、「着付けの会」など受講者を中心とした自主サークルによる活動も行われました。

3 講義の内容

(1) テーマの種類

テーマは、男女共同参画（ジェンダー平等、女性の活躍支援など）はもとより、自然・環境、科学・産業、健康・医療、くらし、文学・芸術、歴史・文化など幅広いジャンルをカバーしています。

大分類	延べ講義数	小分類
男女共同参画	104回	
自然・環境	67回	自然一般・環境、動植物、地震・火山、天気・気象
科学・産業	49回	宇宙、IT・生体科学、食産業、その他
政治・経済	99回	経済、政治、社会問題
健康・医療	140回	健康、食生活、医療
くらし	221回	家庭生活、法律問題・消費者問題、生き方・コミュニケーション、親子関係・子育て・教育、福祉
文学・芸術	111回	文学、美術、音楽・映画
文化・歴史	81回	文化、歴史
海外事情	51回	

※このほか、見学研修（73回）、時事問題解説（73回）を実施

【主な講義テーマ】（過去 10 年間（平成 25 年以降））

◆男女共同参画

平成 25	①現代中国のジェンダー、②北海道農村社会とジェンダー
平成 26	①女性の貧困と社会保障～母子世帯を事例に、②北海道の女性と社会運動、③現代の地域社会づくりと女性
平成 27	①北海道の女性教員と男女平等、②教育における男女共同参画政策とキャンパス・ハラスメント防止委員会
平成 28	①同姓パートナーシップを考える、②家族と平等
平成 29	女性が活躍する社会の展望
平成 30	①母体保護法と妊娠中絶、②女性大学で学ぶということ
令和 1	①女性の女性による女性のためのセンキョ、②女性の生活と働き方～憲法の下で

令和 2	①LGBT について学ぼう、②私たちの起業ストーリー
令和 3	①元管理職が語るわたし色を見つけた軌跡、②女性リーダーの活躍に期待する
令和 4	①家・役割分業・主婦～歴史から見る女性の問題、②みんな違って、みんな特別
令和 5	①仏教と女性～お経の中と外

◆自然・環境

(自然一般・環境)

平成 25	都市環境をコミュニケーションから考える
平成 27	①グローバル時代のエコリテラシー、②地球が抱える問題に環境経済学ができること
平成 29	地球に貢献する循環型社会と再生可能エネルギー
令和 1	①カムチャッカの森と環境～北の樹木の生きる道、②南極氷床～地球最大の氷のかたまり、③地球環境と生命の深化そして未来へ

(動植物)

平成 26	サルからヒトへ～人類進化のはるかな道のり
平成 27	エゾシカの現状と今後
平成 28	①北海道博物館の展示と活動、②ひぐまの管理は文化問題？
平成 30	①北海道の開拓・開発と北の植物たち、②北の動物たちの歴史
令和 2	ウイルス感染に対するヒトの免疫反応
令和 5	①都市周辺に暮らすヒグマの生態とつきあい方、②知っているようで知らないカラスの話

(地震・火山)

平成 30	火山と共に生きる
令和 4	①東日本大震災の体験から学ぶ、②地震への備えと日常の過ごし方
令和 5	北海道で起こる地震・自然災害に備える

(気象・天気)

平成 27	雲・雨・雪からたどる地球温暖化
平成 29	①異常気象と地球温暖化、②氷河～地球を彩る氷
令和 1	変わる北海道の天気と多発する自然災害
令和 2	暮らしを豊かにする気象情報
令和 3	気象予報士のお天気教室
令和 4	変わりゆく南極の氷と海

◆科学・産業

(宇宙)

平成 25	宇宙のなぞ
平成 28	金星探査機「あかつき」
平成 30	太陽系の起源とはやぶさ・はやぶさ 2
令和 2	音と宇宙花火で調べる宇宙
令和 3	①太陽系探査の歴史と将来展望、②北海道に宇宙シリコンバレーをつくる

(IT・生体科学)

平成 25	科学者を育てる教育～生物ロボットを創る研究
令和 1	AI の活用で変わる医療・福祉の未来
令和 3	ソサエティ 5.0 って何？
令和 5	社会と調和する人工知能 (AI)

(食産業)

平成 26	①食用油から東南アジアと日本のつながりを考える、②日本の食は豊かか
令和 5	これからのスマート農業～新しい地域社会の創生

(その他)

平成 27	再生可能エネルギーの今とこれから
平成 28	新幹線の開発技術あれこれ
平成 29	電力及び都市ガスの小売り全面自由化
令和 1	これからのクルマと暮らし
令和 4	①知っているようで知らないカミナリの世界、②北海道の未来の交通を考える、③ものづくりで共生社会のストーリーを

◆経済・社会

(経済)

平成 25	①北海道の経済学、②観光消費行動からみる現代アジアと北海道
-------	-------------------------------

(社会問題)

平成 25	①孤独死から見る地域の絆、②地域社会とメディア・コミュニケーション
平成 26	日本国憲法の改正について考える
平成 27	ホスピタリティの正体
平成 28	①コミュニティ FM と地域づくり、②マイナンバーの利用とプライバシー
平成 29	①憲法は何のためにあるか？、②18 歳選挙権という”ブーム”
令和 1	”変革”は私たちから～SDG s のきほん
令和 2	①日々の備えと暮らし方、②ウイズコロナ時代に必要とされるホスピタリティ、③地域防災入門～建設業は地域を守る、ひとを守る
令和 3	①人々の定住を巡って～地域経済の新しい姿、②コロナ禍の倫理、③すべての人に優しいまちづくりを目指して
令和 4	身の回りのネット犯罪
令和 5	特殊詐欺の現状と対策

◆健康・医療

(健康)

平成 26	①口は「幸せ」のもと、②トクホって何だろう
平成 27	新たな世帯のかたちと精神的健康
平成 28	なぜ口腔の健康が健康寿命を左右するのか？
平成 29	くすりの正しい使い方
平成 30	眠りとからだのリズムの不思議
令和 1	①大人の発達障がい理解と支援のコツ、②歯と歯ぐきの健康
令和 2	①質の良い眠りとは～睡眠のウツ・ホント、②くすりを知る・使う・考える、③冷蔵庫を整理して快適な暮らしを手に入れよう、④お風呂・温泉で免疫力を高める健康入浴法、⑤口は「幸せ」のもと
令和 3	コロナ禍こそ「笑いの力」を忘れないで！
令和 4	①健康寿命を延ばそう！女性のための知恵と知識、②健康と美容のための歯・お口のケア、③SDG s と食一北インド農村部での母子の栄養改善活動から考える

令和 5	女性のストレスとこころの健康（メンタルヘルス）
------	-------------------------

（食生活）

平成 27	アンチエイジングと食生活
平成 30	栄養は健康寿命のカギ
令和 1	①キッチンから始まる！いきいき元気アップ生活、②おいしいとキレイのつくりかた
令和 3	ローフードを気軽に生活に取り入れてみよう
令和 5	知られざる発酵の世界！

（医療）

平成 25	①日本の寿命と健康寿命、②笑う門にはケア来る、③ストレスと高血圧・心臓病、④日本の医療保険制度はこれからどうなるのだろう
平成 26	①腸内細菌と私たちの健康、②先端生殖技術と私たち
平成 28	①生活習慣病とその予防を考える、②XとYのはたらき～ヒトの性差のつくりかた
平成 29	①救急時の対応～緊急なのかの判断、②医療保険と介護保険
平成 30	①「いのちの倫理」はムズカシイ？、②ウイルス感染とヒトの免疫機構

◆くらし

（家庭生活）

平成 26	①震災とボランティア、②私たちの生活に優しいUD
令和 3	①葬送とグリーフケア、②人生を身軽に生きるヒント、③冬の住まいの安全・安全を考える
令和 4	「サザエさん家」から年齢を重ねた時の住まいのありかたを学ぶ

（法律・消費者問題）

平成 25	「遺言」から見る相続紛争～自筆証書遺言を中心に
平成 27	私の老後は私が守る
平成 29	女性の人生と法制度
平成 30	親子法のヒューマニズム
令和 3	空き家や銀行口座凍結の問題を解決する相続対策
令和 4	人工知能（AI）と人権・プライバシー

（生き方・コミュニケーション）

平成 25	「聴く」ことの力
平成 27	幸せになるための方法
令和 1	思いやりコミュニケーション
令和 2	①今日から始める！アンガーマネジメント、②「リモート」での話し方・映り方
令和 4	孤立？それとも社会参加？
令和 5	宗教とウェルビーイング

（親子関係・子育て・教育）

平成 25	子どもの貧困とは何か
平成 27	医療、福祉、文化と子ども
平成 28	児童虐待における子供と保護者の支援

（福祉）

平成 26	①誰かの役に立って生きる～花凧の実践、②「障がい」って何だろう
平成 27	光輝高齢者を指して”転ばぬ先の杖”

平成 28	持続可能な社会保障と福祉社会
平成 29	①フィンランドの高齢者ケア～理念と仕組み、②変わりゆく年金・医療・介護
平成 30	超高齢社会をどう生きる
令和 4	障害への理解が社会をもっと優しくする
令和 5	看取り新時代～最後の命をその人らしく

◆文学・芸術

(文学)

平成 25	①『雨月物語』「浅茅が宿」を読み解く～「貞女」からの解放、②光源氏と紫のゆかりの女君
平成 26	①定家の恋歌～その表現の形成史、②中国の異類物語～動物、妖怪そして怪獣
平成 27	①三浦綾子・三浦光世の短歌、②源氏物語～野宮の別れの場面を読む
平成 28	①平安時代の歴史と文学、②春の女神～紅の紫の上
平成 29	①「論語」を引用した漢詩が書けるまで、②「夏目漱石」が描いた女性像
平成 30	①いま読み返す、三浦綾子、②文学作品から考える 19 世紀フランスの恋愛観・結婚観
令和 1	①小林多喜二～その時代と作品、②江戸怪談と女性
令和 2	①「源氏物語」と読者、②「仲野重治」の詩を読む、③龍はいつから架空の動物になったか？
令和 3	「日本書紀」の読まれ方
令和 4	①文学と「検閲」～マル秘の文学史、②『源氏物語』にみる恋愛観・結婚観
令和 5	①「吉村昭・津村節子」の文学と北海道、②シェイクスピア作『冬物語』のヒロインたち、③紫式部の生涯をたどる

(美術・映画・音楽)

平成 26	映画のなかの北海道
令和 4	「熊野観心十界図絵」から見る日本人の死生観
令和 5	①北の芸術～彫刻編、②片岡球子と戦後の日本画

◆文化・歴史

(文化)

平成 28	縄文文化に学ぶ～循環と再生の思想
平成 29	今、ここ札幌でアイヌの歴史と文化を学ぶ
令和 1	①民族共生象徴空間とアイヌ文化の基礎知識、②道産子の苗字とルーツ
令和 2	智慧のおしえ 仏教
令和 3	縄文世界遺産の価値と可能性
令和 5	ミュージアムは身も心も癒すパワースポット

(歴史)

平成 28	植民地遺産から生まれる国際交流
平成 29	①追憶北前船、②古地図でたどる北海道史
平成 30	①文書館企画展「世界史の中の北海道」、②松前藩の”意外史”、③先史文化からみる北海道の歴史
令和 3	日本遺産「炭鉄坑」～近代北海道のエンジン

◆海外事情

平成 27	①「ロシア」を知る、②中央アジアから見る世界情勢
平成 28	近年のロシアの人口動態
平成 30	韓国”再発見”の旅～変わりゆく隣国の今
令和 3	国際協力ってなんだろう？
令和 5	ロシア・ウクライナ戦争が私たちに突きつけるもの

(2) 講師の類型

道内大学の教授等、行政職員、団体役員、企業経営者など、各分野で活躍されている方々に講義をいただいています。

所属等	延べ回数	主な名称
大学等	506回	大学、専門学校、高校
行政	138回	国、道、市町村
公的団体	96回	公益法人、NPO
企業	50回	
その他	133回	弁護士、医師、メディア、作家、評論家

(3) オンライン受講の実施

女性大学は札幌市内で開催していることから、受講者のほとんどが札幌市及び近郊に居住する方に限られていましたが、新型コロナウイルスのまん延を契機に、令和年度からオンライン（オンデマンド式）での受講ができるようにしました。

現時点におけるオンライン受講者は限定的ですが、道内各地域への広報を積極的に行い、受講者の拡大に努めます。